

# 中三国語科通信

第3号  
令和元年11月26日  
国語科3年担当  
期間・高崎・奥池



散歩より寝て帰り来し幼子の  
小さなグーにおかご握らる

## 自己探究ノート 「私と○○」

今年度から始めた「自己探究ノート」も2クール目に入りました。九月から新たなテーマ10個に取り組んでいます。今回は7作品を紹介します。

### 「私とカギ」

黒木正人

私は非常に神経質な人間なのかもしれない。というのも、私は常に家の鍵を気にしているのだ。寝る前に必ず玄関の鍵が閉まっているか確認し、ドアが開けられる度、鍵を閉めに行く。昔、私は怖がりやで、幽霊が入ってこないように鍵を閉めていたのだが、今は泥棒が怖くて鍵を閉めている。大人になった証拠なのかもしれない。

### 「私と自転車」

田中友美華

私の自転車デビューは保育園に行っていた時期の誕生日で買ってもらった水色の自転車だった。まだ乗り慣れなくて補助輪が付いている、ヘルメットに肘当て、膝当てもつけていた。だが今では補助輪もいらなければ肘当ても膝当てもいらぬ。これも私が成長した証拠だと思う。最近あまり乗っていないけれど久しぶりに乗りたい。

### 「私と自転車」

樋渡晃大

小さい子供からお年寄りまで幅広く使える乗り物といえば、自転車だ。私は保育園にいた頃から乗っていて、今乗っているのが三代目だ。その三台を、一台ずつ思い出して、その時自分が何をしていたのか思い出される。だから、私にとっての自転車は、過去を思い出させてくれる物だ。これからも、自転車と共に歩んで行きたい。

### 「私と自転車」

中倉浩輔

突然だが、自転車通学バス通学論争をしたい。バス通生はよく「自転車通生は好きな時間に学校に来られて好きな時間に帰られるから羨ましい。」と言うが、自転車での通学はまさに地獄だ。特に真夏。大量の汗をかくて通学しても、教室も暑い。体育後なんて比にならない。さて、私の主張はこれ位にして、次はバス通生のターンだ。

### 「私と日本」

中條瑛人

席に座ると目の前で様々なネタが回っている。「どのネタを取ろうか」「一つ食べる度にそう考え、胸が躍る。そしてお腹の限界が来たとしても無意識に手が伸びてしまう。家に帰るとお腹を壊して少し食、へすきたと後悔するのだが、次の日にはまた食べたくなる。そんな魔法のような日本の文化・回転寿司に私はとりつかれている。

### 「私とクリスマス」

那須心音

我が家のクリスマスは誕生日より豪華である。そして、いつもよりも家族との時間が増える。今まではプレゼントが楽しみだったが、今では家族のみんで準備し、食卓を囲んで笑って家族との時間を満喫している事が嬉しい。日頃、忙しい我が家は食卓を囲む事が少なく、家族との時間も短いため、クリスマスは幸せな一時だ。

### 「私とお風呂」

大浦寛成

私は、けっこう長風呂をすることが多い。特に冬になると、のぼせるギリギリまでお風呂に入っている。家族からは「女子か」と言われてしまうほどだ。一度入ると出たくないのでもう少し、誰もいないのでもう少し、入ることが出来る。私にとっては、体の汚れとストレスを一緒に洗い流す大事な場所だ。

### コラムラソン 第三回

#### 「中高一貫校の生徒として」

奥池 大和

今回は(も?)少しお堅い内容を。部活を引退し、学校の中心的な役割も後輩に引き継いだ今、君たちには多少の時間的余裕があるのではないだろうか。でも、その時間的余裕は「君たち」だけのものなのですよ。というのも、公立の中学生は、夏から(早い人は春から)受験に向けて必死に勉強しているのです。辛い夏を乗り越え、受験までの長い戦いを続けているのです。私も中学生の頃は塾に通っていました。「夏休みは毎日塾に通う日々。お盆には、一日に約十時間も勉強する受験勉強合宿というものもありました。(名古屋駅で決起集会を行っているニュースを見たことありませんか?)

それに対して、中高一貫校の生徒である君たちの大半は、一高への進学が認められることになりました。ですから、受験勉強を必死にする必要はありません。今の時間的余裕はそういったことで生じているものなのです。

「だから、受験生と同じように机にかじりついてでも勉強しろ!」と言いたいわけではありません。ただ、この時間を無駄に過ごしてほしくないのです。今人生をかけて勉強している人たちに、君たちが追いつかれてしまうかもしれません。(追い抜かれてしまうかも……)

中学の内容を固めるもよし。高校の内容に挑戦するもよし。はたまた勉強だけではなく、今しかできないことにチャレンジするもよし。いずれにせよ、この時間は君たちの人生にとって、非常に貴重なものです。高校生・大人になって後悔しないよう、有意義に使ってください。

### 百人一首大会



七月に実施した大会の様子をほんの少しご紹介します。